

—支部通信欄—

1 事務局からのお願い

(1) 退会・転出・転入された方へ

機関誌・各種御案内などの発送は学会本部事務局の会員名簿に基づいて行っております。日本気象学会から退会される方、北海道支部から他支部へ転出される方は、日本気象学会本部事務局へ連絡すると共に支部事務局へも連絡願います。（事務局への連絡は、支部機関誌「細氷」末頁の『所属（住所）変更届』をご利用下さい）

(2) 学会への勧誘について

気象に関心をお持ちの方が身近におられましたら、気象学会への入会をお勧め願います。入会申込書は気象学会HP、支部事務局にあります。

会員の種別は通常・特別・団体・賛助・名誉会員があります。

会員の種別および年会費は下表のとおりです。また、A会員には気象学会機関誌「天気」のみ、B会員には「天気」と「気象集誌（英文論文）」が配布されます。また、北海道支部発行の機関誌「細氷（研究発表会の要旨や解説等）」が無料配布され、更に学会が発行している「気象研究ノート」なども会員価格で購入できます。

	通常・特別 A会員	通常・特別 B会員	通常・特別 学生A会員	通常・特別 学生B会員
年会費	6,900 円	12,600 円	4,200 円	8,100 円
支部機関誌「細氷」	無料配布	無料配布	無料配布	無料配布
気象学会機関誌「天気」	無料配布	無料配布	無料配布	無料配布
気象集誌（英文論文）	有料購入	無料配布	有料購入	無料配布
気象研究ノート	有料購入	有料購入	有料購入	有料購入

2 編集後記

今年の夏は、後半は気温が高く好天に恵まれ、秋になっても好天が続いています。成育の遅れていた農作物もどうにか平年並近くまで回復しているようです。

また、この夏も駒大苫小牧高校には素晴らしい感動を与えてもらいました、73年振りの夏の甲子園3連覇達成はなりませんでしたが、素晴らしい準優勝でした。

本号の編集にあたり、原稿執筆者を始め多くの方々にご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。掲載内容についてご意見・要望、アイデア等をお寄せください。

この通信欄は、支部会員相互の情報交換にもお使いいただけます。ご希望の方は原稿を支部事務局までお寄せください。（人見 豊）

日本気象学会北海道支部事務局

〒060-0002 札幌市中央区北2条西18丁目

札幌管区気象台技術部気候・調査課内

Tel 011-611-6147

Fax 011-611-3206

ホームページアドレス <http://www.msj-hokkaido.jp>

JWA
JAPAN WEATHER ASSOCIATION

明日の自然を見つめる。



財団法人日本気象協会

- 本社/東京都豊島区東池袋3丁目1番1号 TEL(03)5958-8130
- 首都圏支社/東京都豊島区東池袋3丁目1番1号 TEL(03)5958-8130
- 北海道支社/札幌市中央区北4条西23丁目1-18 TEL(011)622-2230
- 東北支局/仙台市太白区向山4丁目20番14号 TEL(022)216-4181
- 東海支社/名古屋市北区水草町1丁目21番5号 TEL(052)912-1111
- 関西支社/大阪市中央区南船場2丁目3番12号 TEL(06)6266-8420
- 九州支社/福岡市中央区大濠1丁目6番33号 TEL(092)734-7441

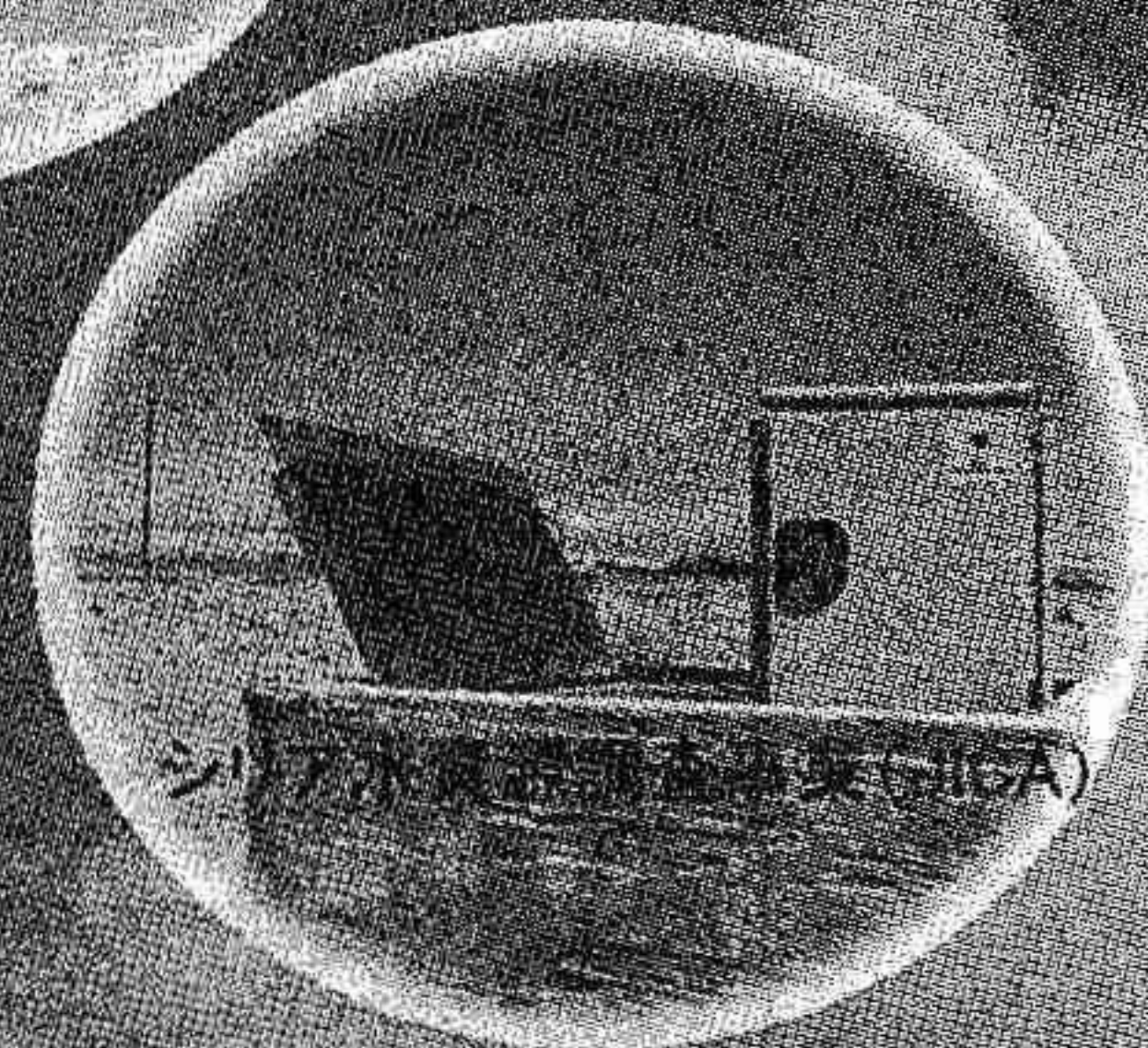
- 気象、雪氷、環境調査
- 各種 (気流・吹雪・吹きだまり・霧等) 数値シミュレーション
- アイスプラント (氷温貯蔵庫) の設計、監理
- MICOS-Vによる気象情報提供
- 天気予報解説、気象予測情報提供
- 水文調査、水収支解析
- 海象調査解析、波浪予測
- 道路気象、農業気象調査
- 気象情報提供システムのコンサルティング
- 気象測器の販売、保守管理、精度試験および修理

KADEC-U21は

低温から高温まで

厳しい自然環境下でも動作する

フィールド専用の自然派記録計です



南極から砂漠まで

KONA コーナシステム株式会社

<http://www.kona.co.jp>

tel:011-897-8000

e-mail:sapporo@kona.co.jp

レーザー式積雪深測定装置

KADEC21-YUKI

レーザー光線を利用して
高精度に積雪深を記録します



- 内臓電池で長期間連続測定が可能
- ヒーターを内臓することで極寒地域にも対応
(※ヒーター用外部電源必要)
- 1～10mの範囲で高さの基準設定が出来る
- LCD表示器で現場でのゼロ調整・確認が容易

私たち、一同はより良い販売とサービスを通じ顧客満足度 No.1 を目指す企業です。

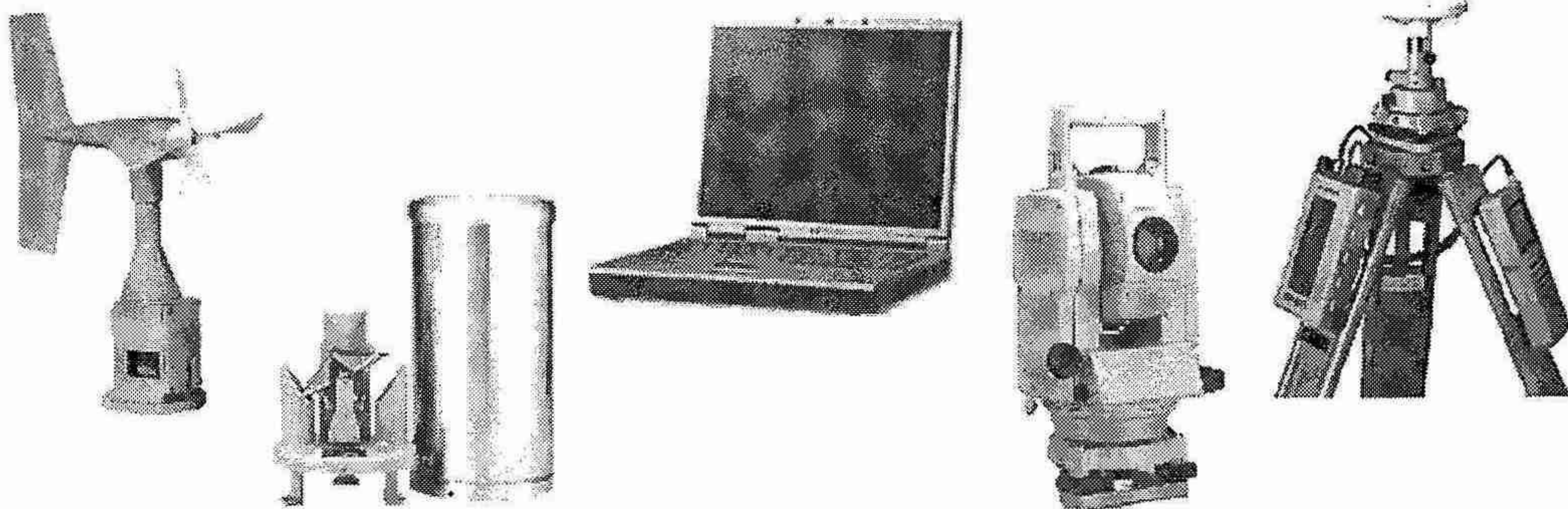
私たち、一同は新しい機器とシステムで社会の発展に寄与し自ら成長する企業です。

私たち、一同はコストパフォーマンスを常に意識し、共存共栄を目指す企業です。

株式会社 岩崎

主要扱い品目 気象、海象、測量、精密測定、コンピューター、自動図化、GIS、GPS

計る、図る、測る、量る の総合商社です。



営業拠点

本社	〒060-0034	札幌市中央区北4条東2丁目1番地	Tel 011-252-2000
旭川支店	〒079-8442	旭川市流通団地2条5丁目	Tel 0166-48-1125
帯広支店	〒080-2469	帯広市西19条南1丁目4-21	Tel 0155-34-0005
釧路出張所	〒085-0006	釧路市双葉町17番19号	Tel 0154-23-7488
函館出張所	〒040-0033	函館市千歳町21番13号	Tel 0138-23-8301
北見出張所	〒090-0064	北見市美芳町6丁目3番8号	Tel 0157-24-2831
苫小牧出張所	〒053-0803	苫小牧市矢代町1丁目2番地3号	Tel 0144-74-8171
小樽出張所	〒047-0004	小樽市新富町13番5号	Tel 0134-27-5571
網走営業所	〒093-0046	網走市新町3丁目3番11号	Tel 0152-43-3530
室蘭営業所	〒050-0082	室蘭市寿町3丁目23番8号	Tel 0143-43-6228
稚内営業所	〒097-0015	稚内市朝日5丁目1478-1	Tel 0162-32-2608
留萌営業所	〒077-0028	留萌市花園町5丁目2番地23号	Tel 0164-43-8338

岩崎ホームページアドレス <http://www.iwasakinet.co.jp>

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE **MEISEI**

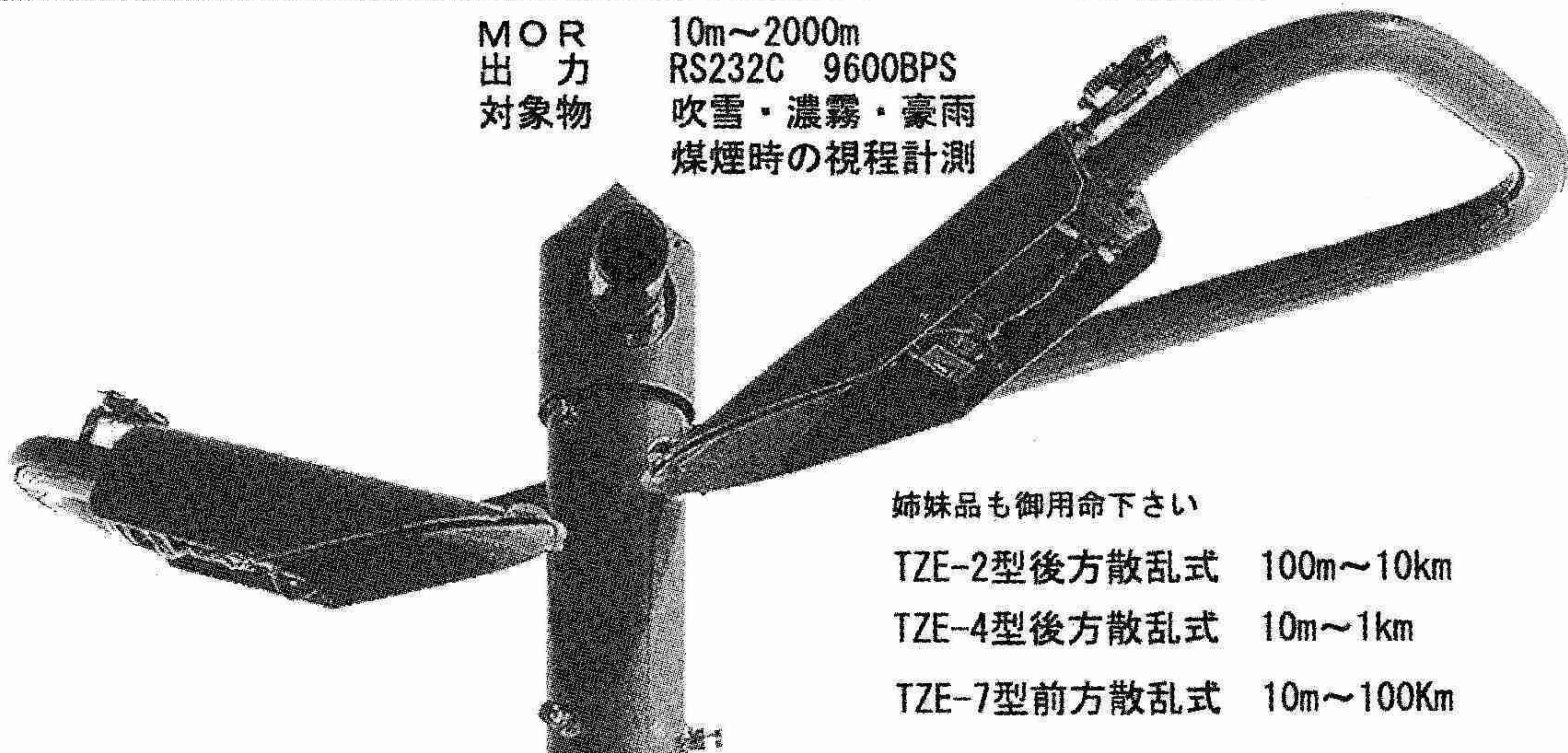
視程観測に30年以上の経験があります。吹雪時の視程観測に！

新製品

前方散乱式視程計 DVM2000

MOR
出力
対象物

10m~2000m
RS232C 9600BPS
吹雪・濃霧・豪雨
煤煙時の視程計測



姉妹品も御用命下さい

TZE-2型後方散乱式 100m~10km

TZE-4型後方散乱式 10m~1km

TZE-7型前方散乱式 10m~100Km



明星電気株式会社

お問合せは最寄の営業部、支店まで

本社 〒112-8511 東京都文京区小石川2-5-7

URL: <http://www.meisei.co.jp/>

環境計測営業部 Tel (03) 3814-5123

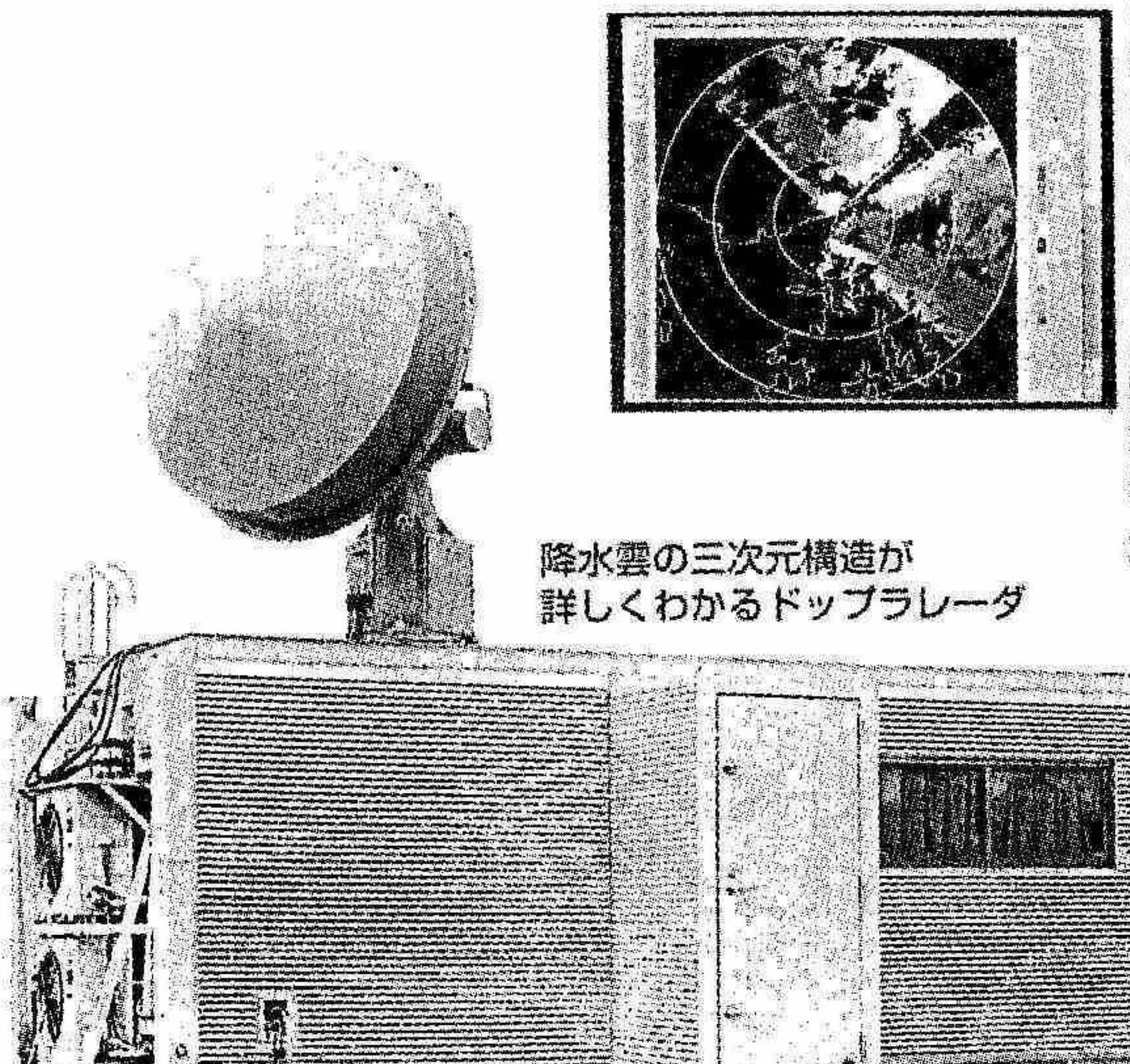
Fax (03) 3814-5004

札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目1番28 (かみヤビル7F)

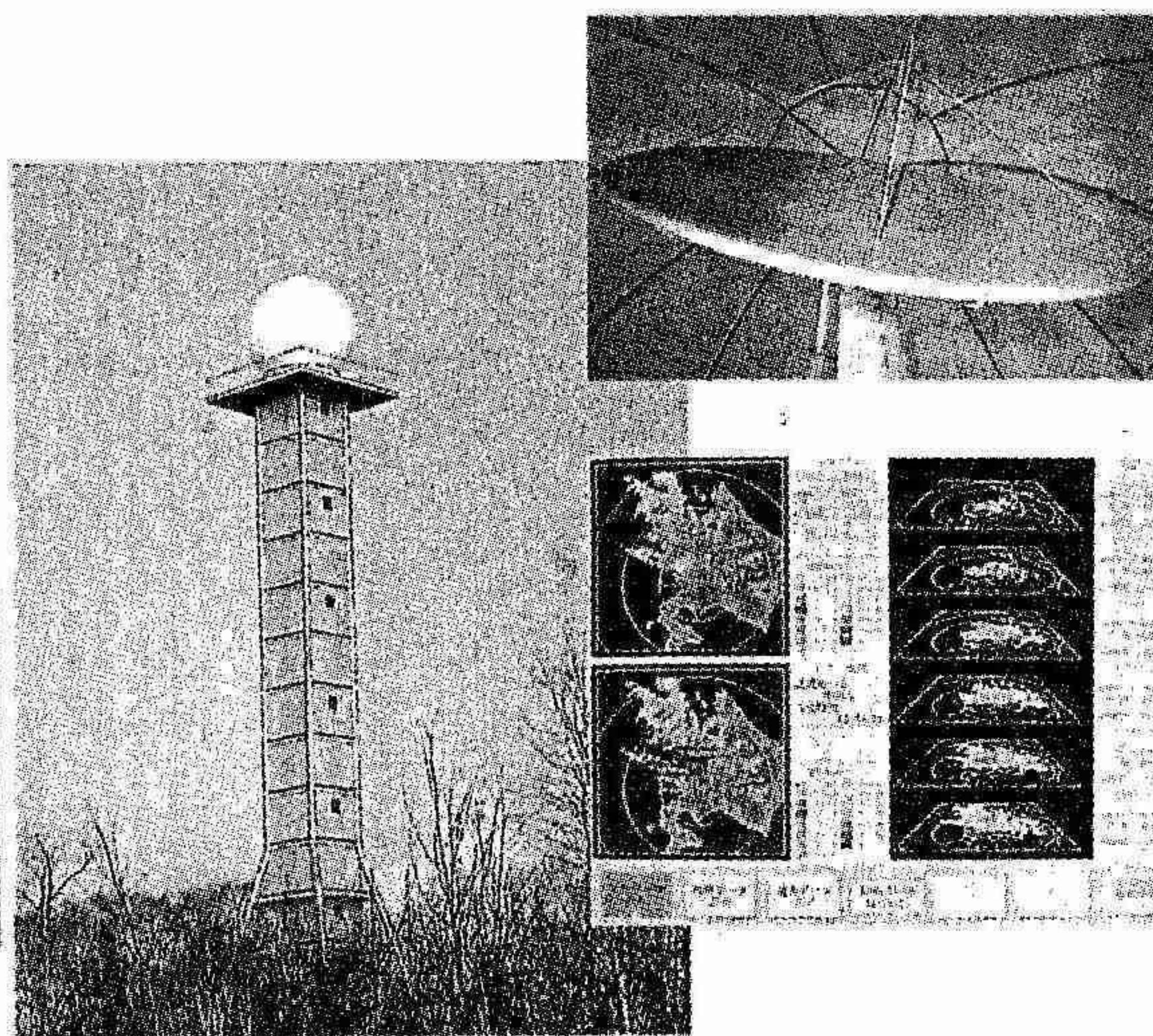
Tel (011) 231-7117 (代) Fax (011) 231-7140

気象観測の進化をささえる、 JRCのレーダ技術。

1954年(昭和29年)、国内で初めて気象レーダを完成させたJRCは、以来企業活動や暮らしと密接な関わりのある気象予報の発達に取り組んでいます。



降水雲の三次元構造が
詳しくわかるドップラレーダ



全国各地の気象台で活躍する気象レーダ



日本無線株式会社

JRCホームページ <http://www.jrc.co.jp/>

本社事務所 〒107 東京都港区赤坂2丁目17番22号 赤坂ツインタワー本館

北海道支社 〒060 札幌市中央区北3条西7 北海道水産ビル ☎ (011) 261-8321 (代表)

静止気象衛星 MTSAT - 1R / 2 HRIT, LRIT 受信システム

MTSAT 衛星から配信される高解像度の HRIT (High Rate Information Transmission: 高速情報伝送) の直接受信システム (Lexical 社) 及び低解像度の LRIT (Low Rate Information Transmission: 低速情報伝送) の直接受信システム (自社製品) により各種の解析処理システムを提供します。

X-Band 衛星データ受信システム

EOS Terra and Aqua 衛星 MODIS 受信システム

1. 高信頼性の 3.0m アンテナを採用し安定した自動受信動作を実現しています。
2. NASA 標準 MODIS アリゴリズムによるソフトウェアにより Level 1,2,3 及び 4 までの各種処理に対応しています。
3. NPP, NPOESS 衛星受信装置への拡張を予定しています。

Micro Rain Radar MRR-2 (ドイツ METEKO 社製)

1. 観測高度 2500m, 測定間隔: 35 ~ 200m, 測定時の平均化処理時間: 10 ~ 3600sec
2. 周波数帯: 24GHz, 送信出力: 100mW, アンテナサイズ: Offset-parabolic 60cm の超小型
3. 長期間の無人運転が可能、データの取得はノート PC (Windows2000, XP)
4. 雨量測定, 雨量の鉛直プロファイル, LWC, 雨滴サイズの分布等の観測が可能

リモートセンシング関連商品

- ・ 気象衛星「NOAA APT」受信システム
- ・ 気象衛星「NOAA HRPT」受信システム
- ・ 気象衛星「METOP AHRPT」受信システム
- ・ 衛星画像解析ソフトウェア

NPS-1 シリーズ (陸上用・船舶用)

(陸上用・船舶用)

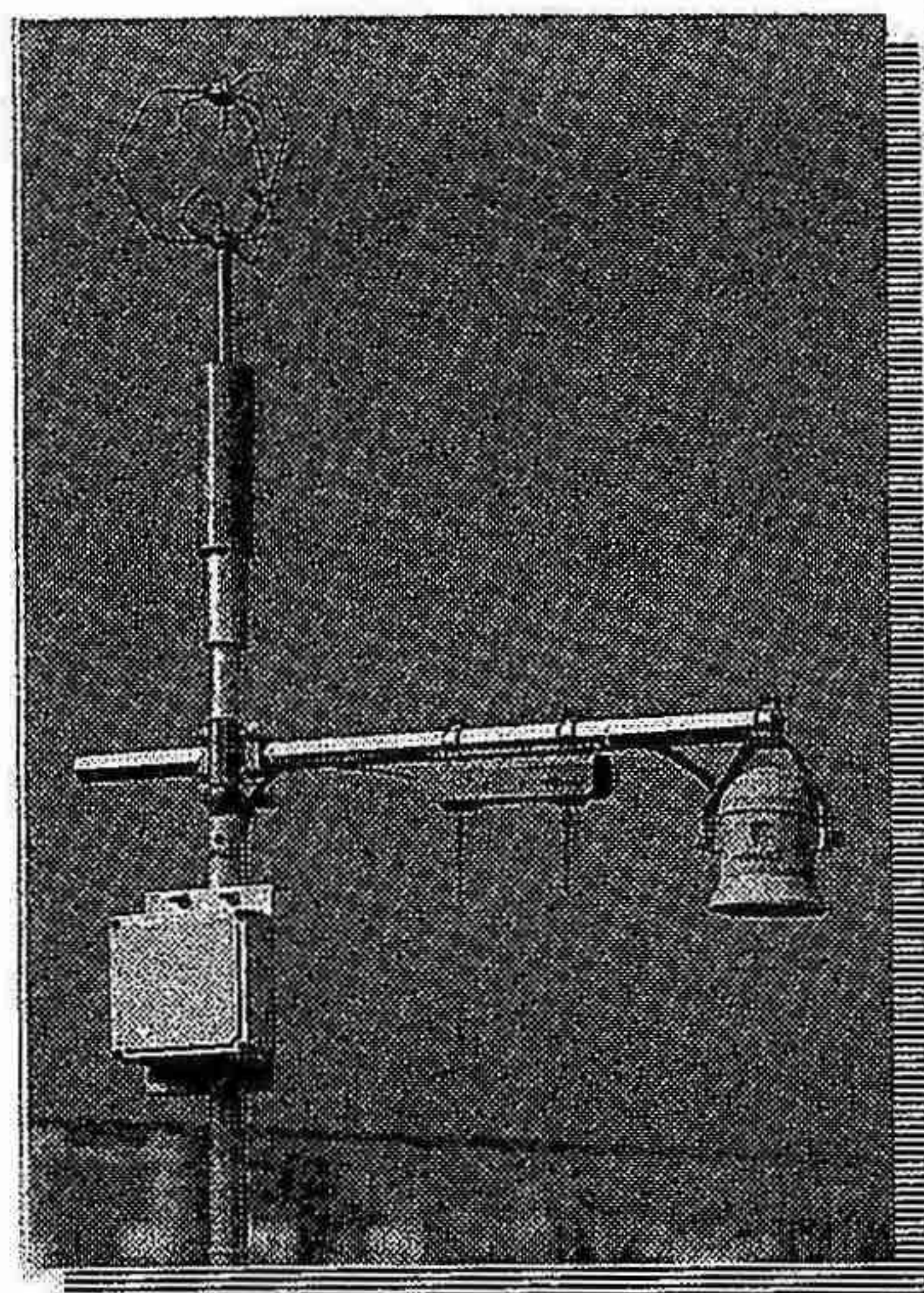
(陸上用・船舶用)

IPSR (JAXA, JAFIC データ等の解析が可能)

E-mail depart.no1@nhe.co.jp

NHE 日本船用エレクトロニクス株式会社

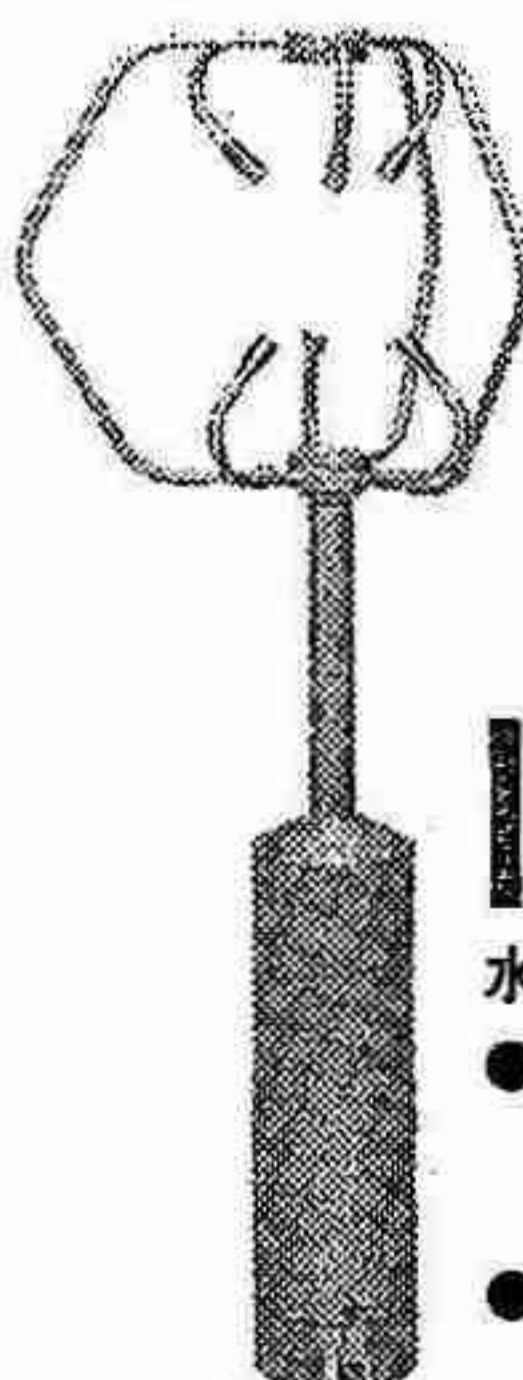
〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川2-40-7
TEL (045) 453-6914 FAX (045) 453-6919



気象観測システム

気象情報、大気拡散観測、建築・土木の安全管理、環境管理、道路情報、降雪・積雪情報など遠くはなれた所のデータ管理に...

- リアルタイムな気象情報を提供
- データ収集のコスト削減

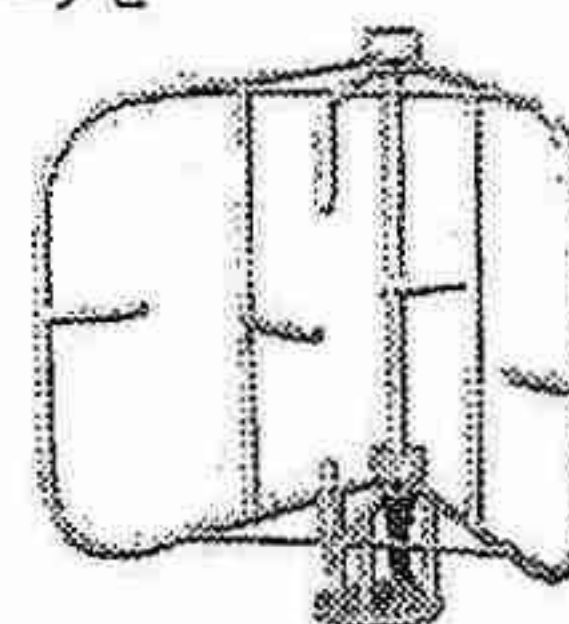
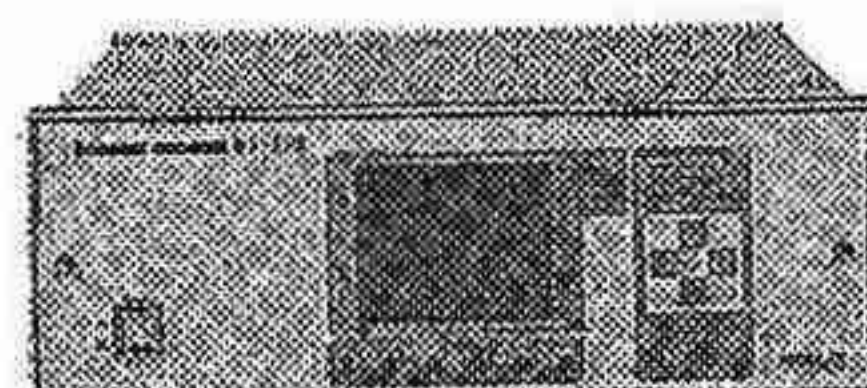


超音波風速温度計

DA-600シリーズ

乱流・熱収支・水収支観測や風洞・ビル・橋梁風などの観測に...

- 3次元風速成分を測定
- ハイレゾンスでの風と温度変動を測定
- 「ゼロ」m/secからの風速を測定
- 3種類、8タイプのプロブをラインアップ



三次元超音波風向風速計 (温度計)

SATシリーズ

水平風向風速に加え、鉛直方向の風速も測定可能

- 機械的な構造がないため、過渡的な変化にも追従可能。0m/s付近の微風速から60m/sの強風までハイレゾンスで測定可能
- お手持ちのパソコンで、風速計のデータ収録可能

株式会社 カイジョーソニック

本社 〒205-8607 東京都羽村市栄町3-1-5
TEL 042 (555) 6080 (代表) FAX 042 (579) 5171
URL <http://www.kaijosonic.co.jp>
e-mail info@sonic.kaijo.co.jp

北海道支店 〒060-0004 札幌市中央区北四条西4-1 ニュー札幌ビル5階
TEL 011 (251) 2280 (代表) FAX 011 (251) 4694



ISO 9001



ISO 14001

AVC総合商社ならではの 理想的なトータルシステムを創造します。

個々のメディアの機能を最も適合する分野を分担させて複合的に利用し、相乗的效果をねらい、能率よく、効果的な学習(情報伝達)を進めることは、一つの目標の達成のために生かされなければなりません。

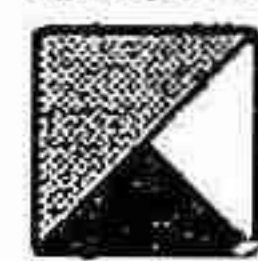
私達はあらゆる未来を予測し、効率的なコミュニケーションの場をトータルなものとして施設、設備やソフトウェアにいたるまで考えております。

お問い合わせ
ご用命は

札幌(011)643-1010

ホームページ <http://www.kcav.co.jp>

北海道知事許可(般)石第14852号・電気通信工事業



K-CAV



株式会社 光映堂シーエービー

□本社 社/札幌市中央区北4条西15丁目 ☎(011)643-1010
FAX(011)641-2247
□イベントレンタル部/札幌市中央区北4条西15丁目 ☎(011)643-2155
□旭川営業所/旭川市豊岡13条7丁目47 ☎(0166)31-0615
FAX(0166)31-0618
□釧路営業所/釧路市昭和中央3丁目1番8号 ☎(0154)55-2111
FAX(0154)52-2111

ホームページ <http://www.kcav.co.jp>

所 属 (住 所) 変 更 届

旧所属・住所	郵便番号 〒 —
新所属・住所	郵便番号 〒 —
郵便物送り先	郵便番号 〒 —
ふ り が な	
氏 名	
	TEL () —
会 員 番 号	No.

北海道支部送付先：〒060-0002 札幌市中央区北2条西18丁目
 札幌管区気象台技術部気候・調査課内
 日本気象学会北海道支部事務局
 Tel:011-611-6147
 Fax:011-611-3206
 ホームページアドレス <http://www.msj-hokkaido.jp>

本部送付先：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4
 気象庁内 日本気象学会事務局
 Tel:03-3216-4403
 Fax:03-3216-4401
 E-mail jnetsoc@blue.ocn.ne.jp

研究発表会申込み方法及び原稿作成要領

1 研究発表会申込みの方法及び期限

(1) 申込み方法

申込み希望の方は、申込み期限までに発表題目・氏名（共同研究の場合、発表者の左肩に○印）・使用機器（P C・プロジェクター使用の有無）を北海道支部事務局まで提出すること（P Cは各自持参のこと）。

(2) 申込み期限

第1回研究発表会（5月20日必着）、第2回研究発表会（10月20日必着）

2 研究発表会原稿作成要領及び提出先

(1) 原稿用紙

A4版（縦長・横書）に上下左右のマージンを1cmとった用紙を使用する。

この原稿用紙に書かれたものをそのまま写真でB5版の大きさに縮小して印刷する。従って執筆者が書いた文字・図表はそのままの姿で印刷され、原稿用紙一枚が1頁となる。

この原稿用紙をB5版に縮小する割合は0.86なので、図表もこの比率で縮小されるので注意すること。

(2) 原稿の記入

原稿の体裁を統一する必要から、最初の行の中央に標題（本文より大きい文字を書き、長い場合2行にわたっても差し支えない）、1行あけて右側に氏名と（所属）を書く。連名者が多い場合は、次の行にわたっても良い。本文は章だてとし、本文が7行目あたりから始まるように記入する。原稿は1編をA4版用紙1～2枚に書き、なるべく余白を出さないように留意すること。

文字・図表などは黒色で出力すること。カラーの図表は、全て白黒に印刷され、明瞭に印刷されない恐れがあるので、できるだけ使用しないこと。

提出された原稿は編集印刷の際、用語、文字などの訂正が難しいので、原稿作成にあたっては十分に注意すること。読み難い原稿は書き直しをお願いすることもあります。

(3) 図 表

図表はその大きさや、図表中の文字・数字の大きさ等について縮小の比率を十分に考慮し、見苦しくならないように作成する。

- ・原稿用紙に直接図表を記入するか、貼り付ける。
- ・グラフ用紙を使用する場合は、罫線が濃いものを使用しない。
- ・図表には標題と説明文も付加する。

(4) 提出先

原稿は研究発表会当日会場へ持参し支部事務局に提出するか、7月末日までに支部事務局に提出する（電子媒体での提出可）。

原稿に使用した図や写真の返却を必要とする場合は、提出の際にその旨お知らせ下さい。

— 細 氷 No.52 —

平成18年 9 月30日 印刷
平成18年 9 月30日 発行

編 集 日本気象学会北海道支部
発 行

編集委員 伊 藤 道 男
〒060-0002 札幌市中央区北2条西18丁目
札幌管区气象台気候・調査課内
Tel (011)611-6147

印刷所 ク リ ー ン ホ ソ ク ラ
〒064-0810 札幌市中央区南10条西9丁目
Tel (011)521-2355